様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和1年　6月　30日

愛 知 県 知 事　殿

提出者
住 所　愛知県碧南市松本町36番地2
氏 名　親和建設株式会社
代表取締役　新美慶太郎
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号0566-41-3505

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

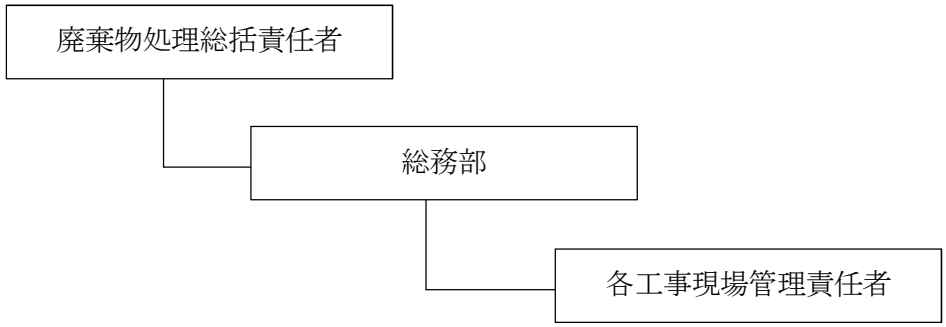
事 業 場 の 名 称	親和建設 株式会社
事 業 場 の 所 在 地	愛知県碧南市松本町36番地2
計　画　期　間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事 業 の 種 類	06:総合工事業
②事 業 の 規 模	元請完成工事高：790，984千円
③従　業　員　数	21人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類…中間処理業者に委託して再生アスコン又は再生路盤材に再資源化 汚泥…中間処理業者に委託して砂に再資源化 金属くず…中間処理業者に委託して製鋼原料として再資源化 木くず…中間処理業者に委託して製紙原料・燃料に再資源化 ガラス陶磁器くず…中間処理業者からの委託で骨材、路盤材に再資源化 廃石膏ボード…中間処理業者からの委託で再生原料等に再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙１による
	排　　出　　量	
	（これまでに実施した取組）	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙１による
	排　　出　　量	
	（今後実施する予定の取組）	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 紙くず・廃プラ・がれき類・石膏ボード・金属くず・木くずは分別して保管している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き現在の取組みを継続して行う。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（平成30年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――――</td><td>――――――</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>――――――　t</td><td>――――――　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
――――――――――</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――――</td><td>――――――</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>――――――　t</td><td>――――――　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
――――――――――</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（平成30年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――――</td><td>――――――</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>――――――　t</td><td>――――――　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>――――――　t</td><td>――――――　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
――――――――――</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――――</td><td>――――――</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>――――――　t</td><td>――――――　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>――――――　t</td><td>――――――　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
――――――――――</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（平成30年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――</td><td>――――</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>――――　t</td><td>――――　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
――――</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>――――</td><td>――――</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>――――　t</td><td>――――　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
――――</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（平成30年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td colspan="2" rowspan="5">別紙２による</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td colspan="2" rowspan="6">別紙２による</td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

別紙１　産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状

前年度（平成 30 年度）実績

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック	紙くず	廃石膏ボード	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず（水銀使用産廃）	混合（管理型含む）	廃油
排出量（t）	385.83	1291.56	547.91	9.489	52.95	13.325	0.36	0.75	0.04	33.14	0.27

これまでに実施した取組み

がれき類・金属くず・石膏ボード…排出の抑制は難しいが、分別して再生して処理業者に依頼し、再生品目の利用に努力している。
廃プラスチック…材料等の梱包材の簡素化している
ガラス・陶器くず…解体工事でガラス、瓦は手作業で行っている
汚泥…現場でできるだけ水分を抜いてから搬出している

計画

目標

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック	紙くず	廃石膏ボード	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず（水銀使用産廃）	混合（管理型を含む）	廃油
排出量（t）	380	1290	540	9	50	13	0	0.5	0	30	0

今後実施する予定の取組み

今年度も同様の工事量があると想定されるので 30 年度に近い目標をたてる。
今までの取組みを引き続き実施する。

別紙２　　産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状

前年度（平成 30 年度）実績

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック	紙くず	廃石膏ボード	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず（水銀使用産廃）	混合（管理型含む）	廃油
全処理委託量(t)	385.83	1291.56	547.91	9.489	52.95	13.325	0.36	0.75	0.04	33.14	0.27
優良認定業者への処理委託量(t)	2.96	0	0	3.729	20.24	12.905	0.36	0.75	0.04	33.14	0
再生利用業者への処理委託量(t)	385.83	1291.56	0.55	9.489	52.95	4.675	0.36	0.45	0.04	21.57	0.27
認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

これまでに実施した取組み

再生利用業者へ処理委託を行っている

計画

目標

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック	紙くず	廃石膏ボード	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず（水銀使用産廃）	混合（管理型を含む）	廃油
全処理委託量(t)	380	1290	540	9	50	13	0	0.5	0	30	0
優良認定業者への処理委託量(t)	5	0	0	5	20	13	0	0.5	0	30	0
再生利用業者への処理委託量(t)	380	1290	1	9	50	5	0	0.5	0	30	0
認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

今後実施する予定の取組み

引き続き再生利用業者への処理委託を行う

優良認定業者へ優先的に委託を行う